



商工会議所報

2018

4月

NO.169

年4回発行

～おもな内容～

平成30年度事業計画・収支予算・	2
新会員の紹介・・・・・・・・・・	3
景気動向調査報告・・・・・・・・	4～5
労働保険年度更新・・・・・・・・	6
青年部・女性会 活動報告・・	8

ベトナム海外経済視察報

山陽物産(株) 代表取締役
(伊予商工会議所 副会頭)

武内 英治



平成30年1月16日から20日の5日間、愛媛県内各商工会議所より会頭2名、副会頭2名を含む27社・32団体が参加し、伊予商工会議所からはエヌエスコーポレーション・山陽物産(株)の2社が参加しました。

17日には、すでにベトナムへ進出しているタオル製造会社一広(株)の見学を行いました。一広(株)は設立が2005年、敷地面積19,500㎡、建物延床面積22,000㎡、従業員870名、日本人5名のタオルの一環工場であり、工場内の広さ、設備、清潔さ、社員のモラルなど、かなりレベルの高い工場でした。

またその日は、愛媛県知事によりドンナイ省と愛媛県の経済協力に関する覚書が締結されました。覚書には、ビジネス交流会や商談会などの開催に協力、ハイテクや裾野産業、環境産業、農産物の加工産業などの優先分野で県内からの投資が促進できる場づくり、などが盛り込まれています。

18日にはニューワールドホテルサイゴンにてベトナム政府、企業へ愛媛県知事による、愛媛PRプロモーションがあり、その後エヌエスコーポレーションの仲井利明社長が食品加工機の売り込みをしたのをはじめ、愛媛県数社がベトナム企業との商談会を行って参りました。

ベトナムはASEAN地域内第3位の人口9,270万人を有し、なんと平均年齢27歳、仏教の方が多く、親日国であるとともに成長率が2017年には6.21%の高い水準にあり、さらなる成長が見込まれております。今後、ベトナム、ドンナイ省等への進出をお考えの企業がおられましたら商工会議所へご相談ください。



発行所：伊予商工会議所

〒799-3111 愛媛県伊予市下吾川1512-6

TEL:089-982-0334 FAX:089-983-2227

E-mail：info@iyocci.jp

第 1 2 8 回 通 常 議 員 総 会 開 催



去る平成30年3月19日(月)、第128回通常議員総会を56名の出席者(委任状提出23名)のもと、商工会議所において開催しました。

審議事項では常議員・監事の補欠選任が行われ、常議員である株式会社アイソウ久岡 昇氏が退任され、同社から新たに常務に就任された泉 敏治氏が常議員に推薦されました。また同じく常議員である株式会社フジ松本 充弘氏が人事異動に伴い転任され、新たに伊予店店長に就任された村井 健嗣氏が常議員として推薦されました。審議の結果、両名とも全員異議なく承認されました。

また監事について、株式会社伊予銀行の徳田 和敏氏が人事異動に伴い転任された為、後任の郡中支店長の渡部 修氏が推薦され全員異議なく承認されました。

続いて、平成30・31年度の特定商工業者に賦課する負担金の額について審議され、特定商工業者の過半数の同意を得ており、負担金の額は1,500円とすることが決定しました。

最後に平成29年度更正予算・平成30年度事業計画並びに収支予算について審議され、原案通り承認されました。

【平成30年度重点事業】

1. 中小・小規模企業経営支援事業の強化
 - (1) 伴走型小規模事業者支援推進事業
 - (2) 伊予市中小企業制度資金利子補給制度事業
 - (3) 創業支援事業
 - (4) 求職者マッチング支援事業
 - (5) 伊予市地域景気動向調査事業
 - (6) 消費税軽減税率対策窓口相談等事業
 - (7) IT活用・販路開拓支援
 - (8) クラウド等を活用した小規模事業者の生産性向上支援事業
 - (9) 小規模事業者持続化補助金の活用支援と経営力向上計画策定支援
2. 地域資源等を活用した地域活性化の推進
 - (1) 伊予市観光PR・物産商談会
 - (2) 独身者交流支援事業
3. 建議・要望活動の展開
4. 伊予市との連携
5. 組織・財政・運営基盤の強化
6. 関係団体の指導育成及び社会奉仕団体活動への支援



平成30年度収支予算 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

総括表 (単位：千円)		一般会計 (単位：千円)				中小企業相談所特別会計 (単位：千円)			
会計別	予算額	収入の部		支出の部		収入の部		支出の部	
		科目	予算額	科目	予算額	科目	予算額	科目	予算額
一般会計	52,437	会費	17,650	事業費	13,452	補助金	25,949	事業費	3,736
中小企業相談所特別会計	33,721	事業収入	11,802	管理費	27,962	委託金	755	管理費	27,485
法定台帳関係費特別会計	451	交付金	12,601	積立金	500	事業収入	1,991	繰入金	2,500
共済事業特別会計	11,619	雑収入	653	繰入金	7,225	雑収入	1		
退職給与資金特別会計	46,775	繰入金	4,441	予備費	3,298	繰入金	5,025		
会館特別会計	26,393	繰越金	5,290						
議員研修積立金特別会計	420								
労働保険事務組合報奨金特別会計	1,650								
特定退職金共済事業特別会計	23,498								
合計	196,964	合計	52,437	合計	52,437	合計	33,721	合計	33,721

小規模事業者持続化補助金のご案内

この補助金は、小規模事業者が、商工会議所とともに作成する「経営計画」に基づいて実施する販路拡大などの積極的な取り組みに対して、上限50万円(一定の要件を満たす場合100万円が上限)の補助金が出るものです。我が国経済の基盤を支える小規模事業者の活力を維持することを目指した本補助金をご活用ください。

★募集締切:平成30年5月9日(水) ★補助率:補助対象経費の2/3以内(上限50万円)

【対象となる取り組み事例】

○広告宣伝

- 新たな顧客層の取り込みを狙い、チラシを作成・配布する。
- 新規事業に取り組むに当たり自社のホームページのリニューアル。

○集客力を高めるための店舗改装

- 幅広い年齢層の集客を図るための店舗のユニバーサルデザイン化を図る。
- 飲食店が和式トイレを洋式トイレに改装したり、座敷を掘りごたつにするなどにより、幅広い年齢層の集客を図る。
- パン屋が衛生面を強化するため、陳列している商品の上にカバーを付け、商品がほこりなどにふれない工夫を図る。

○商談会・展示会への出展

- 新たな販路を求め、国内の展示会へ出店する。

○商品パッケージや包装紙・ラッピングの変更

- 新たな市場を狙って商品パッケージのデザインを一新する。

○業務効率化・生産性向上への取り組み

- 新たにPOSレジソフトウェアを購入し、売り上げ管理業務を効率化する。
 - 業務改善の専門家からの指導、助言による長時間労働の削減。
- ※販路拡大とあわせて行う場合に補助対象となります。

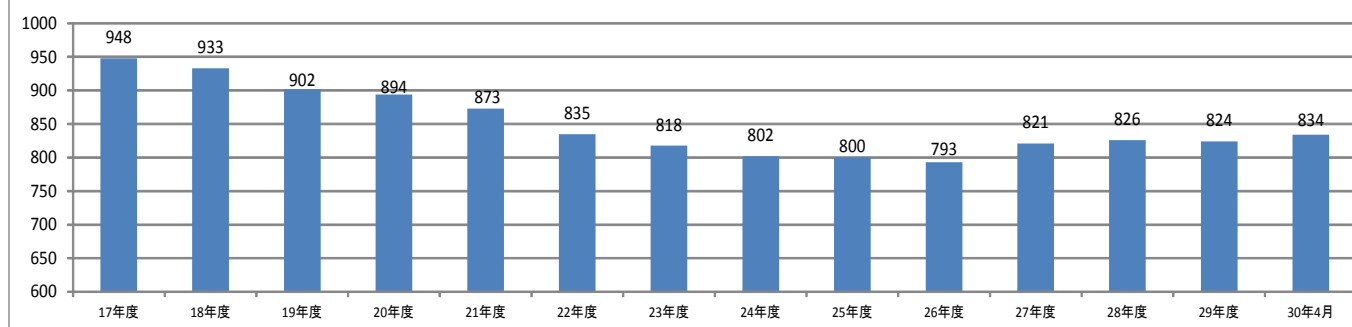


新会員の紹介 (敬称略) 第4回常議員会承認事業所

新しく会員としてご入会いただきありがとうございます。お気軽に会議所をご利用下さい。

事業所名	代表者	業種	所在地
重松建築	重松 直也	建築業	伊予市八倉919-7
	田中 美貴	不動産業	伊予市下吾川865
	岩見 和也	電気工事業	伊予市宮下54-28
大中社会保険労務士事務所	大中 悦子	社会保険労務士	伊予市双海町上灘甲4595
アフース工業	奥村 洋二	倉庫管理業	伊予市市場字嶋岡甲14
小梅	青井 由香	飲食業	伊予市灘町10
(株)ぐるなび愛媛営業所	久保証一郎	インターネット関連業	松山市花園町3-21
武知塗装	武知 稔	塗装業	伊予市米湊886-2
	亀岡 泰治	不動産業	伊予市米湊1526-3
KoBa TECH	小林 亨一	建設業	伊予市下吾川1497-11

会員数の推移



伊予市地域景気動向調査について

このたび、伊予市地域景気動向調査にご回答をいただきました事業所の皆様には、ご多忙のところご協力を賜り誠にありがとうございました。

その第6回目の調査結果がまとまりましたのでご報告いたします。

なお、調査結果の詳細につきましては、商工会議所のホームページに掲載をいたしますので是非ご活用ください。

調査対象期間	平成29年後期(平成29年7月～12月)
調査対象業種	小売業・サービス業・卸売業・製造業・建設業
調査対象件数	758事業所(前回757事業所)
回収件数	333事業所(前回324事業所)
回収率	43.9%(前回42.8%)

調査結果の総括

1 平成29年後期の経営状況及び平成30年1月～7月の予測

次の表1は各調査項目を3点満点で表わしている。以下、項目の状況を対比すると次のとおりとなる。

(表1)

調査項目	前期実績 (1月～6月)	今期実績 (7月～12月)	比較	次期予測 (30年1月～6月)
1. 業界全体の景況	1.65	1.73	0.08	1.71
2. 自社の景況	1.69	1.72	0.03	1.70
3. 市場の競争	1.59	1.60	0.01	1.54
4. 売上高の状況	1.71	1.79	0.08	1.70
5. 仕入価格の状況(低下)	1.64	1.54	▲ 0.10	1.57
6. 労務費の状況(減少)	1.81	1.75	▲ 0.06	1.77
7. 燃料費の傾向(減少)	1.76	1.50	▲ 0.26	1.50
8. 収益(経常利益)の状況	1.64	1.63	▲ 0.01	1.60
9. コストアップの価格への転嫁	1.53	1.56	0.03	1.56
10. 消費税の価格転嫁	1.82	1.76	▲ 0.06	1.75
11. 従業員数(不足)	2.30	2.32	0.02	2.36
12. 設備資金の調達状況	1.85	1.85	0.00	1.86
13. 運転資金の調達状況	1.88	1.87	▲ 0.01	1.86
14. 金利の動向(低下)	2.08	2.08	0.00	2.05
15. 取引条件の改善状況	1.94	1.92	▲ 0.02	1.91
16. 従業員の高齢化の改善	1.40	1.40	0.00	1.40

「1.業界全体の景況」、「2.自社の景況」、「3.市場の競争」は、平成29年前期と比較すると、平成29年後期の評価点は改善していることが分かる。

また、企業の業績の柱となる、「4.売上(収入)額」、「8.収益(経常利益)」も、平成29年後期の評価点は改善傾向にある。

但し、「原価の三要素」と言われる「5.仕入(材料代)価格」、「6.労務費の傾向」、「7.燃料費(経費)の傾向」については、平成29年前期と比較すると、平成29年後期の評価点はいずれも悪化(ダウン)しており、コスト面での厳しさは続いていることが分かる。

また、コスト面での負担増をカバーするため「9.価格への転嫁」、「10.消費税の価格への転嫁」、「15.取引条件」について改善が期待される場所であるが、平成29年後期の評価点は、いずれも悪化ないし横ばいとなっており、価格への転嫁や取引条件の改善は進んでいないことが分かる。

さらに、「11.従業員の過不足」、「16.従業員の高齢化」については、全ての業種で共通した経営課題ととらえており、将来に亘って経営を維持・発展させていくうえで大きな足かせとなる可能性がある。

最後に、金融面の課題として、「12.設備資金の調達」、「13.運転資金の調達」、「14.金利の動向」について見てみると、資金の調達、金利の動向は前年と変化がないという見方をしている事業所が多いことが分かる。

2 経営の課題

注目すべきは、「社員の高齢化」、「人手不足」、「後継者」、「パート従業員の不足」など、「人」に係わる経営課題が重要と考えている事業者が多いということである。

業種によっては、「従業員を募集してもなかなか応募がない」という状況も生じているようであり、最悪「後継者不在」、「人手不足」による廃業・倒産という事態が起こることも懸念される。

さらに、来年2019年10月に予定されている、消費税率アップへの対応が、全ての業種において重要な経営課題となることを認識しておく必要がある。

NO	経営課題項目	小売 卸売業	製造業	サービス 業	運輸業	建設業	製材 建具業	その他	不明	合計
1	売上不振	49	11	21	2	19	1	7	6	116
2	需要の停滞	25	14	10	3	17	2	3	2	76
3	官公需の停滞	3	1	2	1	8	1	2		18
4	民需の停滞	3	3	6	1	8	1	4		26
5	競争の激化	31	15	20	1	23		3	6	99
6	新規参入の増加	5	2	6		7		1	3	24
7	大型・中型店との競争激化	24	1	9					2	36
8	同業店との競争激化	14	1	11	1	6	1	1	2	37
9	異業種からの参入	11		5		3		1	1	21
10	消費者ニーズの変化	16	7	9		5		4		41
11	価格に税・コストアップを転嫁できない	9	8	9	1	7		1	1	36
12	原材料・仕入原価の上昇	21	16	15	1	17	2	3	4	79
13	取引条件の悪化	5		3		8		1	1	18
14	在庫過剰	2	2			1				5
15	燃料の高騰	5	5	8	1	10	1	3	1	34
16-1	人手過剰									0
16-2	人手不足	15	16	12	6	32	4	5	4	94
17	社員の高齢化	18	25	19	7	34	3	7	6	119
18	パート従業員の不足	7	5	7		2		4	1	26
19	人件費高	7	11	5	1	19	2	1	3	49
20	設備不足	2	7	6	1	6			1	23
21	下請業者の確保難	2	3			17	1			23
22	下請単価の上昇	2	2			15	1			20
23	設備の老朽化	14	18	19	2	10	1	3	7	74
24-1	運転資金の資金繰り難	5	2	2	1	6	1		2	19
24-2	設備資金の資金繰り難		1	3		1	1		1	7
25	金利負担の増加	1					1	1	1	4
26	代金回収難	3				1	1		1	6
27	品質管理	4	6	1		1				12
28	環境対策	1	4	1		2	1		1	10
29	円対策	1	2					1		4
30	後継者	18	13	11	1	13	1	4	1	62
	回答総数	323	201	220	31	298	27	60	58	1218
	回答事業所数	84	54	59	7	86	6	20	17	333

3 経営課題に対する必要なサポートについて

事業所が必要なサポートとして、最も希望が多いのは「販路開拓や新規開拓の支援」が71件(20.1%)、次いで「公的な助成・補助金制度の斡旋」が70件(19.8%)、第3位は「人材確保のためのマッチング支援」で54件(15.3%)、第4位は「情報交換ができる場の提供」と「資金調達」で37件(10.5%)となっている。

既に、商工会議所や市役所および事業者を支援する関係機関等がさまざまなサポートを行っているが、サポート体制等に関してまだまだ満足をしていないということで、希望が上がっているものと思われる。今後、可能な限り事業者のニーズに対応をしていく。

NO	サポート項目	小売 卸売業	製造業	サービス 業	運輸業	建設業	製材 建具業	その他	不明	合計	構成比
1	販路拡大や新規開拓の支援	22	14	12	1	12	1	6	3	71	20.1
2	人材確保のためのマッチング支援	7	9	5	5	20	4	4		54	15.3
3	情報交換ができる場の提供	12	5	6		7	1	3	3	37	10.5
4	資金調達	8	5	7	1	13	1	1	1	37	10.5
5	講演会やセミナーによる情報提供	9	4	6	1	3		1	1	25	7.1
6	研修会を通じた人材育成の支援	6	4	4	2	8		2		26	7.3
7	公的な助成・補助制度の斡旋	9	17	11	5	16	3	7	2	70	19.8
8	専門人材の派遣や斡旋		2	3	2	6		1	2	16	4.5
9	企業間の連携を創出する場の提供	4	2	2	1	1				10	2.8
10	M&Aや企業売却に関する支援					1	1			2	0.6
11	関連機関(大学・他支援機関等)の紹介	1	1					1		3	0.8
12	その他	1	1					1		3	0.8
	回答事業所数	79	64	56	18	87	11	27	12	354	100.0

年会費の、口座振替は7月2日です

平成30年度商工会議所会費の納付をお願いする時期となりました。会員事業所の皆様には、5月中旬に「口座振替」のお知らせを送付させていただきます。

平成30年度の会費は7月2日(月)にご指定の預金口座から引き落とさせていただきます。

また、口座振替の手続きをすまされていない会員事業所の皆様には、職員がお伺い致しますのでよろしくお願ひ申し上げます。

※「口座振替」の申し込みは、

当所総務課までご連絡下さい。 Tel982-0334

伊予商工会議所de愛イベント Vol.7

商工会議所では、第7回の独身者交流イベントを5月20日(日)に花の森ホテルにおいて開催いたします。

参加を希望される方は、えひめ結婚支援センターのメルマガにご登録いただき、下記HPよりお申込みいただくか、同封チラシ裏面の必要事項を記入の上、FAX・郵送・はがきでお申込みください。

http://www.msc-ehime.jp/deai_event/

なお、FAX等にてお申込みの場合は、えひめ結婚支援センターへのユーザ登録は、当所で行いますので、ご了解いただき、お申し込みください。

昨年開催の第5回目は9組、第6回目は6組のカップルが誕生いたしました。

事務局職員異動・人事交流

◆異動◆ 平成30年4月1日付

事務局長 篠崎 博志(旧 相談所長)

相談所長 白川 正明(旧 振興課長)

振興課 泉 大地(旧 総務課)

◆人事交流◆ 平成30年4月1日～平成31年3月31日

総務課 係長 高市 貴久

(派遣元:松山商工会議所)

松山商工会議所 小袋 健太郎

(旧 振興課)



(高市)


精神障害者雇用促進キャンペーン

◆全ての事業主には、法定雇用率以上の割合で障害者を雇用する義務があります。

◆平成30年4月1日から障害者の法定雇用率が2.2%に改正されます。

◆職場内で暖かく見守り応援する精神・発達障害者しごとサポーター養成講座を県下で開催しております。

◆障害者と共に働くことが当たり前の社会の実現にご協力をお願いします。

 厚生労働省・都道府県労働局・

ハローワーク(公共職業安定所)

全国健康保険協会愛媛支部からのお知らせ

「健康経営」始めていますか

昨今、各方面において「健康経営」が話題になっています。「健康経営」とは、企業が従業員の健康づくりに積極的に関わり生産性を向上させていくことを目的とし、従業員の健康管理を経営的視点から考え戦略的に実践していくことを意味しています。

政府も「健康経営」には注力しており、「健康経営」に取り組む法人を「見える化」するために、経済産業省が各種顕彰制度を実施しています。平成26年度に東京証券取引所上場企業を対象とした「健康経営銘柄」が開始され、平成28年度からは上場企業以外を対象とした「健康経営優良法人」認定制度が開始されました。平成28年度、「健康経営銘柄」は24社、「健康経営優良法人(大規模法人部門)」は235社、「健康経営優良法人(中小規模法人部門)」は318社認定されました。「健康経営優良法人(中小規模法人部門)」を申請するためには、各健康保険が実施している「健康宣言」を行っておく必要があります。

協会けんぽにおいては、平成28年4月から「健康づくり推進宣言」事業を開始しており、平成29年11月末現在264事業所に参加いただいています。「健康度チェックシート」により、事業所における現在の健康づくり取組状況を確認でき、具体的な取組事例も掲載されているため、今後の事業所における健康づくりに役立ちます。

従業員の健康づくりから企業の成長に繋げていくためにも、是非、「健康づくり推進宣言」事業への参加をお願いします。

詳しくは「協会けんぽ 愛媛 健康づくり推進宣言」にて検索をお願いします。

労働保険の年度更新は お早目に！！

年度更新期間

6月1日(金)～7月10日(火)

今年度も労働保険の年度更新手続きの時期がやってきました。

労働保険に加入されている事業主の方々は、平成29年度に申告納付した概算保険料の確定精算と、平成30年度の概算保険料の申告・納付手続き及び一般拠出金の申告・納付手続きを期間中に行わなければなりません。この手続きを、「6月1日から7月10日までの間」に行っていただくことになっております。年度更新の時期が社会保険の算定基礎届の提出時期と重なりますので、手続きの準備はお早めをお願いします。

※ご不明な点がございましたら、愛媛労働局・松山労働基準監督署・ハローワーク松山にお問い合わせください。

なお、当商工会議所(労働保険事務組合)へ事務委託されている事業主におかれましては、後日送付いたします年度更新に関する「算定基礎賃金等の報告」等の書類を提出期限(封筒表に記載)までに必ず当商工会議所までご提出下さい。

※提出期限は厳守して下さい

労働保険事務組合を ご活用下さい！！

労働保険(労災保険・雇用保険)への加入手続きや保険料の納付手続き、雇用保険の被保険者に関する手続きなど、労働保険事務の処理は専門の担当者をおくことのできない中小企業の事業主にとっては事務の負担となってしまいます。

「労働保険事務組合」とは、このような事業主の事務の負担を軽減するために、中小企業の事業主を構成員とする商工会議所等の団体が、事業主に代わって労働保険の事務処理をする制度です。

伊予商工会議所では、厚生労働省の認可を受けて、この「労働保険事務組合」となっておりますので、特に労働保険に未加入の事業主におかれましては、事務委託されることをお勧め致します。



お問い合わせ
労働保険事務組合

伊予商工会議所 宇都宮・泉 まで
Tel 982-0334

労働保険年度更新 申告書受付会のご案内

愛媛労働局では、この年度更新手続きを円滑に行うために、伊予商工会議所において「年度更新申告書受付会」を開催致します。ぜひご利用下さい。

◆年度更新申告書受付会

6月15日(金)午前10時～午後2時

伊予商工会議所 3階 大会議室

■お問い合わせ

愛媛労働局 労働保険徴収室

Tel 935-5202

平成30年度(4月分給与より適用)の 雇用保険料率は変更ありません

事業の種類	雇用保険料率	事業主負担率	被保険者負担率
一般の事業	9 /1000	6 /1000	3 /1000
農林水産 清酒製造 の事業	11 /1000	7 /1000	4 /1000
建設の 事業	12 /1000	8 /1000	4 /1000

青年部 活動通信

交流会・例会・全国大会・臨時総会



多度津YEGとの交流会に参加

平成30年1月20日(土)、香川県多度津市内において、姉妹YEGである多度津YEGとの親睦ゴルフコンペ及び交流研修に参加しました。

交流研修では、熊手八幡宮で新春商売繁盛祈願後、弓の的当て体験、瓦コースター作り、合田邸の見学を行い、多度津の歴史や文化に触れ、有意義な研修となりました。

交流会を重ねる度に深まっていく絆が、今後のYEG活動の更なる発展の礎となるものと確信しております。



第5回例会を開催（商工会議所との共催）

平成30年2月8日(木)、ウェルピア伊予において元気ファクトリー 代表(明屋書店 前代表取締役) 小島俊一氏を講師にお迎えし、講演例会を開催しました。業績をV字回復させた書店代表時代の実例を中心に、正社員のリストラを出さずに会社を立て直した手法についての講演でした。出席した会員は自社経営に取り入れるため熱心に聞き入っていました。



全国大会岐阜かかみがはら大会に参加

平成30年2月16日(金)～2月17日(土)の2日間、日本商工会議所青年部第37回全国大会岐阜かかみがはら大会が盛大に開催され、全国各地から約6,100名の青年部メンバーが各務原の地に集結致しました。

大会は、分科会・前泊者交流会から始まり、渋澤健氏を招いての記念講演、記念式典・記念事業・大懇親会が行われ、全国のメンバーとの交流と研鑽が図られました。会社経営も青年部活動も今大会の様に熱意を持って取り組んでいきましょう。



臨時総会・卒業式を開催

平成30年3月17日(土)、伊予商工会議所において臨時総会及び卒業式を開催しました。臨時総会では平成30年度の組織体制、事業計画及び収支予算について審議され、原案どおり承認されました。また、卒業式では卒業生5名に卒業証書授与が行われ、卒業生からはYEGに対する想いや後輩への激励の言葉を頂きました。先輩方の想いを引き継ぎ、伊予YEGはこれからも誇りを持って挑戦していきます。



女性会 活動だより

講演会の開催・県連研修会へ参加



商工会議所との共催で講演会を開催

平成30年1月19日(金)、19時から、「プロから学ぶ！美しい声の出し方・話し方」というテーマで、(株)エンカレッジ代表取締役の玉野聖子さんを講師にお迎えし、セミナーを開催しました。当日は、16名の方にご参加いただきありがとうございました。

セミナーは、主に実践形式で進められ、講師の玉野さんの経験から、時に厳しく、中でも笑顔のあふれる楽しいセミナーとなりました。

鏡を手に、笑顔の作り方や口の形を気にしながら、美しい声の出し方を学びました。

最後に、参加者の皆さんの要望が多かった、人に上手に話を伝えるコツを教えてほしいということで、簡単なノウハウを教わり、4人1組になって実践しました。

最後は、グループ内で一番上手だった代表者のプレゼンをみんなで聞いて、セミナーを終了しました。

中予ブロック研修会に参加

平成30年1月24日(水)国際ホテル松山で開催された、県連主催の中予ブロック研修会に、山崎会長以下4名で参加しました。

テーマは「健全な経営は健康から～笑い与健康～」で、講師は落語家の三遊亭円丸師匠でした。



笑いには、脳梗塞の予防や万病の進行を止める効果があることなど、健康で長生きするためには笑うことが大事だということ、時折小啾を交えながらお話をしてくださいました。

また、緊急時の応急処置の方法を知っておくこと、適度な運動を続けること、正しい食事をとることも、健康で長生きするためには大事です。

「笑い与健康」毎日、笑顔で楽しく過ごしましょう！

【会員募集中!】 経営に携わる女性として、商工会議所女性会に入会して、他の女性会員の皆さんと楽しく交流しませんか? <<facebook情報発信中! >>

